

オンライン
受講生募集

R6年度 熊本大学公開講座

ことばの教育・ 研究を考える

ことばやコミュニケーションは誰にとっても身近なものです。身近であるがゆえに、言語化したり現象を捉えたりする際に難しさを伴います。本講座は、ことばやコミュニケーションに関心がある方向けの2日間の講座です。「対話」を切り口として、「ネットワーク」、「パフチンの対話原理」、「言語学習アドバイジング」の観点から3つのレクチャーを行い、言語観や言語学習の環境に関する知識を深めます。日本語教育学を専門とする3名の講師とともに、私たちににとってことばとは何か、ことばの教育は何を目指すのかといったことを考えていきます。



講義日程：R7年

1/25 (土) 14:00～15:20 (講義①)
15:30～17:00 (講義②)

2/1 (土) 14:00～16:00 (講義③)

講義① 『ことばの教育が目指すもの—ナラティブ・コミュニティ・ネットワーク』

熊本大学 大学教育統括管理運営機構

佐川 祥予 准教授

大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程修了。博士(言語文化学)。大学・大学院留学生対象の日本語教育に携わっている。また、タイで実践コミュニティに関するフィールドワークを行っている。専門分野は、ナラティブ研究、相互行為分析、日本語教育学。著書に『相互行為能力の諸相—共構築・ナラティブ・自己形成—』(溪水社、2022年)がある。

講義② 『人間とことばはどのように育まれるのか』

広島大学 森戸国際高等教育学院

西口 光一 特任教授

(公社)日本語教育学会会長。国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程修了。博士(言語文化学)。日本語教育の企画、リソース制作・システム開発、コース・コーディネーション、教員研修等を行っている。専門分野は、言語哲学と日本語教育学。著書に『メルロ＝ポンティの言語論のエッセンス—身体性の哲学、オートポイエーシス、対話原理—』(福村出版、2022年)などがある。

講義③ 『対話を通じた意識変革と言語学習—言語学習アドバイジングの理論と実践』

大阪大学 国際教育交流センター

義永 美央子 教授

大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程単位取得退学。博士(言語文化学)。大学・大学院留学生対象の日本語教育や、日本語教師研修などに携わっている。専門分野は応用言語学、日本語教育学。著書に『[改訂版]日本語教育の歩き方—初学者のための研究ガイド—』(大阪大学出版会、2019年、共著)などがある。

事前申込みが
必要です！
12/23(月)
申込み切

対象：言語やコミュニケーションに関心がある方、留学生への日本語教育に携わっている方など、どなたでも。

実施方法：Zoomによるオンライン講義です。

受講料：5,200円(税込み) ※申込者にお振り込み方法のご案内します。

■詳細・お申込はこちら(2次元コードよりHPへアクセスください)

熊本大学研究・社会連携部
社会共創推進課 公開講座担当
☎ 096-342-3144 (平日9時～16時)
✉ manabou@jimu.kumamoto-u.ac.jp

